

仙台的観光・物産事業、コンベンション誘致支援、国際化事業の開催等による
多文化共生の推進をとし、地域の振興を図っています

新年のご挨拶

公益財団法人仙台観光国際協会 会長 鎌田 宏



平成29年の年頭にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。

当協会は、今年の4月で設立から3年目を迎えることとなりました。これもひとえに賛助会員の皆様、関係団体の皆様のご支援ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、5月に「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」が仙台市秋保地区で開催されました。当協会といたしましても、関係各位の協力をいただきながら、会議参加者、関係者へのおもてなし事業や仙台・宮城の魅力のPRするための取り組みを行い、会議の成功に向けて微力ながら協力をさせていただきました。

また、8月と12月には、台南市を訪問して仙台・東北セミナーの開催や、旅行博への出展等の観光プロモーションを実施するとともに、11月には、台南市から旅行や報道関係者を招請し、仙台・宮城の魅力の情報発信をしていただくなど、海外からの誘客にむけても積極的に事業を行いました。

本年も、国内外からの観光客やコンベンションの誘致、多文化共生事業等を通して、交流人口の一層の拡大と地域振興に邁進して参る所存でございます。昨年同様変わらぬご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

コンベンション事業部

ICCA総会に出席しました

11月13日(日)~11月16日(水)に、マレーシアのクチンにある「ボルネオコンベンションセンタークチン」で「第55回ICCA(International Congress and Convention Association 国際会議協会)総会」が開催されました。ICCAは国際会議やコンベンション等に携わる企業・団体で構成されており、国際会議誘致に関する情報収集や国際的なネットワーク作りを目的として、当協会は平成27年に加入しました。今回はアジアでの開催とあって日本からは、グローバルMICE強化都市などを中心に40名近くが参加。世界各国から集まったコンベンションビューローや会議場、関連会社の方々と情報交換やネットワークを構築することができました。今回得たものを活用し、今後の誘致活動に活かしてまいります。



第55回ICCA総会

インセンティブツアー紹介のWebページを作成しました

当協会では、今年度新たにインセンティブ担当の部署を設け、海外からの誘客増大にも力を入れています。昨年11月末に、仙台の歴史や自然、そしてアクセスの良さ等の魅力とともに、各種支援やおもてなしメニューを掲載した「インセンティブツアー」のWebページを日本語、英語、繁体字及びタイ語で作成いたしました。企業や団体などの研修・報酬旅行先としての仙台・宮城のPRに一層努めてまいります。

仙台インセンティブツアーWEBサイト

<http://www.sentia-sendai.jp/incentive/>



スペンディングタイム仙台に新機能追加

MICE参加者向けウェブサイト&無料アプリ「Spending Time Sendai(スペンディングタイム仙台)」、(日・英)に「市内中心部の免税店一覧表示」等の新機能を追加。より一層使いやすく便利になりましたので、ぜひご利用ください!

<http://www.spending-time-sendai.jp/>



コンベンション開催助成の申請について

平成29年度の申請締切りは、平成29年1月31日(火)になっております。助成をご希望の方は、お早目に手続きをお願いいたします。詳細については、下記までお問い合わせください。

e-mail : conv@sentia-sendai.jp

